

か 議会だより かみまち

平成30年2月1日発行
宮城県加美町議会
No. 60

わぁ のびた のびた
(12/7 おのだにし園)

12月定例会

議会中継はこちらから



加美町議会映像配信

検索

<http://www.kami-town.stream.jfit.co.jp/>

- 議案審議（ボルダリング施設条例可決）… P3
- 一般質問 町政を問う（12人が質問）… P5
- 加美町未来・夢子ども議会 …… P18
- 東小野田婦人会と意見交換会 …… P25
- あれからどうなった（追跡シリーズ）… P26

新春のごあいさつ

議会の活性化と改革を目指して



議長 早坂 伊佐雄

町民の皆様には希望に満ちた新春をお健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

今年の干支は、正確に言えば、戊戌（つちのえいぬ）になります。土の性質から変化する年。これまでのルールや慣習にこだわらず、新しい動きが生まれる年だそうです。変化するためには、勇気や思い切りが必要です。2018年がその年なのかもしれません。

現在、少子高齢化や矢越の町有地の塩漬けの問題など様々な課題に直面し、今まさにまちづくりのあり方そのものが大きく問われております。

こうした状況の中で、加美町議会といたしましても町民の皆様の代表機関として、このような時代の変化に的確に対応し、その責務をしっかりと果たして参りたいと強く感じております。そして魅力あるまちづくりを進めていくためには、時代を

見据えた情報分析に力点を置き、執行部とお互いに知恵を出し合い、町政運営に取り組みなければならぬと考えております。

平成29年度より議員協議会を設置し、重要な案件につきましては、活発な議員間討議を行っております。また、予算審査に付きましても見直しを検討するなど議会機能の充実・強化に向けた様々な取り組みをして参りました。

新たな年を迎え、議会といたしましては、その役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに議会の活性化と改革に取り組み、オール加美町議会として「魅力ある加美町」にするため全力を尽くす所存でございます。

結びに、町民の皆様にとりまして、この一年が素晴らしい年であり、素晴らしい年であることを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

12月定例会

12月定例会は12月6日から8日までの3日間開催しました。一般質問では、12人の議員が町政運営について問い質しました。

議案審議では、ボルダリング施設条例の制定、町営住宅条例や教職員住宅条例などの一部改正、中新田交流セ

ンターと町営放牧場の指定管理者の指定及び平成29年度一般会計補正予算を含む23議案が、町長より提出されました。

提出された23議案について慎重に審議した結果、すべての議案を原案通り可決して閉会しました。

定例会で審議した内容

報告	承認	条例制定・改正・廃止	行政事務組合規約変更	指定管理の指定	契約締結	補正予算
.....						
2件	1件	8件	1件	2件	1件	8件

案議 議審

ボルダリング施設条例可決

地ビールレストラン「ぶな林」と併設している小野田展示交流施設を改修し、スポーツ・ツーリズムの拠点施設を目指し、ボルダリング施設を設置する。

現在、4月オープンに向けて工事を行っている。

問 利用料は近隣施設と比べてどうか。

答 近隣の施設と比べ低く設定している。

問 今後、指定管理の予定は。

答 現在は白紙状態だが、年度内に手続きを進める。

問 所管課はどこか。また、条例は例規集のどの部分になるのか。

答 観光も含めて考えているので、商工観光課で進めている。

問 例規集には、小野田の施設群とし、ボルダリングも産業経済に記載する。

答 光課で進めている。

問 小野田展示交流施設には、貴重な資料があった。日の目を見るように要望したい。

答 小野田の文化財を展示していきたいが、農機具・民具は他にもあるので、扱いを検討したい。



注目されているボルダリング競技

中新田交流センター

中新田交流センターの指定管理者として、(株)加美町振興公社を平成30年4月から31年3月まで引き続き指定する。

問 平成30年度の収支計画で、宿泊利用者が450人減となり、売り上げが逆に伸びているが。

答 計画は逆になっているが。

問 利用料金の見直しをするためである。

答 ホールの床などに隙間風がある現状を把握しているか。また、改修計画はあるか。

答 指定管理を受けている施設全体が老朽化しており、年次計画に従って改修する。



加美町営放牧場

加美町営放牧場(小野田薬業原・下台野・天ヶ岡)の指定管理者として、(一般社団法人)加美町畜産公社を平成30年4月から32年3月まで引き続き指定する。

問 感染症や事故などはないのか。

答 感染症の報告はないが、妊娠牛の流産などの報告を受けている。事故が起きた場合は、利用者同士が互助会を組織しており見舞金を出す制度もある。

問 稼働率の状況は。

答 乳用牛舎は50頭規模で100%超、肉用牛舎は150頭規模で60%で推移している。



補正予算

12月定例会では、ふるさと応援基金積立金、震災復興特別交付金返還金、地域新電力会社支出金、ファミリー住ま居る住宅取得補助金、加美郡保健医療福祉行政事務組合負担金、中新田交流センター施設改修工事、屋敷住宅室内改修工事など8,268万1,000円を増額し、一般会計の総額を139億794万3,000円に補正することを可決しました。

また、水道事業会計では設備修繕や滅菌用薬品購入などについて補正することを可決しました。

Pick up1

一般会計の補正予算の主な内容

歳出の主な内容	補正額
加美郡保健医療福祉行政事務組合負担金	8924万円増
震災復興特別交付金返還金	2514万円増
ファミリー住ま居る住宅取得補助金	1000万円増
ふるさと応援基金積立金	819万円増
月崎清水地区ほ場整備事業負担金	659万円増
地域新電力会社支出金	600万円増
一般造林保育事業委託	570万円減
中新田交流センター施設改修工事	428万円増
屋敷住宅室内改修工事	335万円増
各種大会出場補助金	320万円増
災害復旧事業土地改良区補助金	219万円増

Pick up1

Pick up2

Pick up3



健全な運営・経営改革を

加美郡保健医療福祉行政事務組合負担金

8924万円増額

加美病院の職員増と患者数の減少に伴い1億4000万円の不足が生じ、加美町と色麻町でそれぞれ利用率などに応じた金額を負担します。

検討委員会を設置し、現状分析や今後の経営改善を検討していきます。

問 終末期医療・小児科・リハビリ科が重点と思うが、診療実績から見て必要な科は。

答 小児科は加美町にはない。負担が予想されるが維持していく必要がある。

Pick up3 屋敷住宅室内改修工事

335万円増額

宮崎地区の屋敷住宅4部屋分をリフォーム

問 どのような改修内容か。

答 住宅入居希望の問い合わせがあり、4部屋をリフォームする。浴室の防水工事、照明器具の交換、台所・玄関・トイレなどの壁・天井の塗装替えを行う。



Pick up2 ファミリー住ま居る住宅取得補助金

1000万円増額

17件分を予定しており不足分を補正

問 増額の要因は。

答 当初予算2000万円のうち18件分1540万円が執行済みである。今後、転入3世帯・町内14世帯の17件分を見込んでおり、不足する1000万円を補正するものである。



町政を問う 12人が登壇

似顔絵を
かいてくれた
おともだち

学校法人淑徳学園

小鳩幼稚園

つくし組



一般質問目次



通告1 **沼田 雄哉** (ぬまた ゆうや) 6ページ

1. 庁舎の位置は住民投票で
2. 門沢・三ヶ内間の道路整備を



通告7 **一條 寛** (いちじょう ひろし) 12ページ

1. 国道347号小野田バイパスの早期実現を
2. トイレの洋式化への取り組み状況は
3. 保育を継続的に行う祖父母へ保育手当は



通告2 **早坂伊佐雄** (はやさか いさお) 7ページ

1. 今後の地域コミュニティーは
2. 受験対策に特化すべきでは



通告8 **伊藤 由子** (いとう ゆうこ) 13ページ

1. 生ごみ分別モデル地区事業の継続は
2. 評価のフィードバックが必要では



通告3 **早坂 忠幸** (はやさか ただゆき) 8ページ

1. 町長日記の勝者と敗者の真意は



通告9 **高橋 聡輔** (たかはし そうすけ) 14ページ

1. 芝グラウンド使用が少ないのでは
2. 費用対効果を出すべきでは



通告4 **三浦 進** (みうら すずむ) 9ページ

1. 庁舎一部移転を含む土地・建物の建設予算は



通告10 **味上庄一郎** (みかみ しょういちろう) 15ページ

1. ひと目でわかる支援策は
2. 緊急時取水口の水量調整は



通告5 **工藤 清悦** (くどう せいえつ) 10ページ

1. 液肥の利活用は
2. 地域の活性化策は



通告11 **木村 哲夫** (きむら てつお) 16ページ

1. 今後の博物館への考え方は



通告6 **米木 正二** (よねき しょうじ) 11ページ

1. 都市計画道路の見通しは
2. 学習支援の取り組みは



通告12 **佐藤 善一** (さとう ぜんいち) 17ページ

1. ゆ〜らんど周辺の整備は

一般質問とは、議員が町政全般に関して、町長や教育長など執行機関に対し質問することで、定例会（年4回）ごとに行われます。



沼田雄哉 議員

町有地

庁舎の位置は住民投票で

町長 総合的に勘案して判断



矢越町有地

問 矢越・西田の両町有地の活用について、どのように判断しようと考えているのか。

町長 矢越町有地は、利用価値の高い土地である。道の駅・アウトドア・災害時の防災機能について、町としての考えを整理している。

問 町長の任期が残り1年8カ月になった。考え方についてはっきりさせる時期では。

町長 矢越の土地は、3月にモンベールのグループから提案があった。道の駅がいいと決定したわけではないが、一つの案として検討している。

問 矢越・西田の町有地の活用は、住民投票により町民に判断してもらうことが必要では。

町長 町政に関する特に重要と思われるものは、住民投票によって町民の意思を確認するという手法もある。住民投票は一つの選択肢であると考えている。

問 加美町まちづくり基本条例の中に、住民投票に関する盛り込まれている。実施する条件が整ったのでは。

町長 住民投票を行うメリット、デメリットはさまざまある。総合的に勘案して住民投票を行うかどうか判断をしている。

道路整備

門沢・三ヶ内間の道路整備を

町長 交通量の推移を見極める



門沢・三ヶ内間道路

問 宮崎地区の袋小路解消策として、門沢・三ヶ内間の整備を図り、国道347号を通して小野田・宮崎地区を広く周回できるようにしては。

町長 この区間の拡幅改良に向けて基本測量設計業務を行った。今後、国道347号の交通量の推移を見極めながら整備を進めていく。

また、最上小野田線についても期成同盟会で、県に強く働きかけている。

問 工事の開始予定は。

建設課長 筒砂子ダムの関係で、平成30年頃からの国道347号付替工事と合わせて検討する。

今後の地域コミュニティは

町長

住民自治の仕組みを構築したい

問 今後の地域コミュニティの考えは。

町長 行政と住民の協働と連携の中で、地域の特色を生かしながら新たな住民自治の仕組みを作っていく。

問 加美町総合体育館の玄関近くに障がい者用駐車場を設置し、表示も必要では。

町長 玄関脇に1、2台の駐車場対策を講じる。

問 健康診断や選挙準備の時に放課後児童クラブの運営に支障がある。改善策は。

町長 これまで情報交換が、できていなかったことを反省し検討していく。

問 移住・定住セミナーで強調していることは。

町長 加美町を知ってもらうことが重要。PR方法を改善していきたい。

問 学校の遊具と児童公園が混在している場所がある。一括管理はできないか。

町長 関係各課と協議して検討していく。



早坂 伊佐雄 議員



学童保育でのクッキング

問 現在、放課後児童クラブは年間240日開校して補助金が約189万、あと10日開校すると補助金が331万円になる。土曜日開校も検討しては。

町長 来年度から、鳴瀬地区では毎週土曜日、宮崎地区では月1回開校予定である。

寺子屋

受験対策に特化すべきでは

教育長

内容・質の充実を図っていく

問 中学3年生の寺子屋は、受験に特化してやるべきでは。

教育長 学校と連携し、内容・質の充実を図っていく。

問 既存公園の整備計画の進捗状況は。

町長 12月中旬ころまでには調査終了予定。修繕計画は1月頃になる。

問 学校給食で異物混入の実態は。

総務課 虫が入ったりしたことはあるが、髪の毛やプラスチック片が入った報告はない。

問 学校給食の非常勤職員退職の主な理由は。また、特定の学校に偏っているのでは。

総務課 仕事がきついとか人間関係がうまく構築できなかったなどの理由である。特定の学校に偏っているのも一部事実である。

問 給食の業者を委託する中新田中学校・東小野田小学校の保護者に対して今後の対応は。

総務課 議案が可決後に、保護者対象の説明会や文書など何らかの形で周知する。



安全でバランスのとれた給食を

町長日記の勝者と敗者の真意は



早坂忠幸 議員

町長 物事を肯定的に捉えることが重要



加美町音楽技能修得施設の厨房（国立音楽院）

問 「最小の経費で最大の効果」の視点から、活性化施策が大きな要因となり、決算が否決された。町長は広報かみまち11月号で勝者・敗者と表現しているが、その真意は。

町長 国からは、加美町の地方創生の取り組みが高く評価されている。いかに肯定的に物事を捉えるかということが重要である。

問 平成29年度国立音楽院は53人の定員に対し、現在の状況は。開校時は17人、その後、中途入学が3人あり、現在は20人となっている。

問 20人は定時刻に来ているのか。カリキュラムの関係で時間差がある。夜間部、休日だけのコースもあり、20人全員そろえることはあまりない。

問 備品関係及び食堂の厨房機器などは長く使用しないと、経年劣化などで使用不可となることが心配されるが。厨房機器については指摘のとおりで、来年度使うかどうかかわからないが検討する。

問 ツールド347、シートウサミットなどのイベントの参加人数が大幅に下回っているが。準備期間がなかったことを反省している。来年度は早めに内容を決め、周知、募集をしたい。

問 レンタル用バイクラックが町内22カ所に置いてある。ほとんど使っていないのでは。使用頻度は、まだまだだと思っている。



ツールド・ド・347特設バイクラック

問 シートウサミット運営費が、まちづくり観光協会に行き、そこからモンベルにどれくらい支払われたのか。

町長 観光協会へ300万円、その中から運営費の委託料として150万円と消費税がモンベルに支払われている。

問 新庁舎用地に道の駅風アウトドアショップが計画されている。町長は町が決定したのではなく、業者が提案したとのことだが、このような委託は理解できないが。

町長 プロの目、外の目から見て加美町の魅力、この地域の生かし方など様々な提案があった。

問 中新田地区拠点整備に保健福祉部門が入る計画だが、合併時の決定事項である新庁舎との整合性はとれるのか。

町長 新庁舎は合併後に検討するとなっており、建設についての具体的な記載はない。

問 拠点施設、アウトドアショップ、新博物館、中新田公民館など、総合管理計画の中で考えることが必要ではないか。

町長 総合的な計画が大事だと思う。その方向で取り組んでいきたい。



三浦 進 議員

商店街活性化

庁舎一部移転を含む土地・建物の建設予算は

商工観光課 課長

大ざっぱな試算では、5億から6億円

問 中新田地区商店街活性化拠点施設などの整備計画案は、庁舎の一部移転が含まれており、整備の根拠までも変更しているのでは。

問 本来、商店街活性化策であるべきものが、保健福祉部門の移転など庁舎一部移転に特化しているが方針転換では。

町長 保健福祉部門の手狭などの理由もあるが、商店街に恒常的に人が足を踏み入れるということに、より重きを置き、計画をつくった。

問 庁舎一部移転を含む土地・建物の建設予算は。

商工観光課長 大ざっぱな試算では、5億から6億円である。

町長 拠点整備の目的は、商店街の中に恒常的な集客が見込める拠点をつくることで、提案は目的に沿ったものであり、整備の根拠を変更するものではない。



西町の空き地（やません跡地）

問 ツール・ド・347を観戦したが、一般市民の応援が少ない。町民参加型の大会だったのでは。

商工観光課長 多くの町民の参加、応援をいただく手立てを考えていく。

問 国立音楽院の募集は、基本的には国立音楽院の努力が必要と思うが。

企画財政課長 今年度も国立音楽院とともに34校を訪問している。

問 国立音楽院の使われていない備品は、「地方公共団体は、最小の経費で最大の効果を上げるようにしなければならぬ」と規定している地方自治法に抵触するのでは。

町長 最小の経費で最大の効果を出すために国の交付金を活用している。町の持ち出しを極力少なくしている。



加美町音楽技能修得施設



工藤清悦 議員

バイオマス

液肥の利活用は

町長 農業振興に繋がりたい

問 食品残渣を利用したバイオマスエネルギーの進捗状況は。

町長 食品残渣や家畜ふん尿などを活用したメタンガス発生施設の稼働は、平成31年度に予定していたが、公設民営方式での事業者による検討などに時間を要するため、平成32年度以降になると考えている。



液肥散布

問 バイオマスで生成された液肥の実証試験は、続けていくのか。

町長 液肥の散布実証試験は、平成28年度から実施している。生育の状況、生産量、品質などを比較検討している。

問 液肥の活用で戦略的農業振興が図られると思うが。

町長 液肥利用は資源循環型農業なので、産地の差別化を図り農業振興に繋がっていききたい。

商工振興

地域の活性化策は

町長

住民主導の地方創生を目指す

問 交流人口の増加や地域活性化のため、ツール・ド・347やシートゥーサミットに取り組んでいるが、事業に対する評価は。

町長 事業の手応えは感じている。町民の理解を得ながらアウトドアランド形成事業を進めていく。

問 アウトドアランド形成事業を通じて、町民が自ら事業に参加する意識の高まりや、健康増進の動機づけに繋がることが事業の効果に影響すると思うが。

町長 来年度はアウトドア関連の地域おこし協力隊2名を募集し、事業推進に努めていく。



シートゥーサミット（鳴瀬川）

問 加美町での地方創生が国で評価されているというが、町民は理解しているのか。

町長 町主導の地方創生に加え、住民主導の地方創生を目指し、地域活性化に取り組んでいく。



米木正二 議員



延伸が望まれる田川・平柳線

都市計画

都市計画道路の見通しは

町長

県にバイパス化の要請を行っている

問

都市計画道路、田川・平柳線、色麻・下多田川線の整備計画の見通しは。

町長

両路線とも途中で止まっており、県に対してバイパス化の要請を行っている。県からは、防災ネットワーク、交通量の変化などを見極め、検討するとの回答がある。矢越の町有地の利活用が大きな鍵になる。

問

長期間未着手の町裏公園線、矢越・赤塚線の見直しは。

町長

両路線とも実施は難しい。町裏公園線は、計画線上に中新田小学校と高校がある。矢越・赤塚線は、既存道路が無い計画路線である。廃止並びに見直しを検討している。

問

町裏公園線を整備しないということであれば、側溝の整備を含めて安全対策を進めるべきでは。

建設課

町裏公園線は通学路にもなっている。調査して前向きに検討していく。

学校教育

学習支援の取り組みは

教育長

新たに学力向上委員会を立ち上げる

Check

※1 30・10運動

宴会において、最初の30分と最後の10分間は、自分の席に着いて料理を楽しみ、食べ残しを減らす運動です。

※2 3切り運動

食材を無駄なく活用する「使いきり」、料理を残さず食べる「食べきり」、生ゴミの水分を取り除く「水切り」の3つの行動で生ゴミを減らす運動です。

問

全国学力テストで本町の小中学校における平均正答率の実態は。

教育長

小6と中3が対象で、教科は国語、算数、数学である。全ての教科で県、全国平均を下回り、特に数学の基本問題で平均よりも大きく下回っている。

問

学力調査結果などを生かした学習指導および効果的な学習支援の取り組みは。

教育長

各学校に分析と具体的な対策や評価を報告させている。新たに学力向上委員会を立ち上げ、教員の指導法の改善、児童生徒の学習改善、意欲の向上を図っていく。

問

学校給食の食べ残しの実態と課題は。

教育長

食べ残しはほとんどなく、全国平均よりだいぶ下回っている。これからも栄養バランスを考え、おいしく温かい給食を提供していく。

問

※1 30・10運動の推進についての考えは。

町長

運動発祥の松本市の宿泊施設などでは、食べ残しの量が半減したといわれる。運動に賛同して推奨する自治体も増えており、本町でも※2 3切り運動と併せて周知する。



一 條 寛 議員

道路整備

国道347号小野田バイパスの早期実現を

町 長 町道を改良してのバイパス化を強く要望



拡張改良工事を実施する寺前橋

問 安全走行のため、小野田バイパス設置を要望しているが、国・県の対応と今後の見通しは。

町長 今年度、歩行者の安全を図るため、龍川寺前の橋拡張改良工事が実施されている。

町道小瀬・北ノ口線を改良してバイパス整備を強く要望している。交通量の変化などを見極めた上で対応するという回答である。

問 筒砂子ダムの建設が始まる今がバイパス要望のチャンスと思うが、ダムの本格的工事の開始時期はいつか。

建設課長 計画では、平成30年度に測量設計、平成33年頃、本格工事着手の予定と確認している。

問 町道をバイパスとするために必要な工事は。

建設課長 舗装・路盤の厚さの改良が必要となり、幅員に関しては歩行者や、自転車も考慮した歩道設置で3m、農業用停車帯として1・5mの確保が必要である。

教育環境

トイレの洋式化への取り組み状況は

教育長

遅れている学校中心に整備を進める

問 和式トイレに戸惑いを感じ、学校で大便をしない小学生は3割に上り、学業や健康面への影響が心配される。また災害時、避難所ともなる学校トイレの洋式化の取り組み状況は。

教育長 トイレの洋式化率は42%で全国平均と同じである。学校間ではらつきがある上、現行の学校トイレは、健康面、心理面も考慮し、洋式化の遅れている学校を中心に整備を進めていく。

問 経費面や子どもの健康面への影響も考え、一気に洋式に改修すべきと思うが。

教育総務課長 文科省もトイレの洋式化をすすめているので、ハード面と教育面の両方の視点で学校と相談しながら、検討していきたい。



洋式化への対応が望まれる

子育て支援

町長 問

保育を継続的に行う祖父母へ保育手当は。子ども・子育て応援社会実現へ総合的に検討したい。



伊藤 由子 議員

回収は可能である。
視察では、「生ごみがここまで役立つとは思わなかった」「液肥をぜひ使ってみたい」などの声があった。また「施設の設備費・修繕費などのコストが心配だ」という意見があった。

問 モデル地区77世帯の生ごみを回収した結果、計画通りの量の確保は可能か。また、南三陸BIO視察では、どんな声があったのか。
のり長 働ぶく課 協進 協進 協進
実証試験の結果 1日4・1トンは、



南三陸BIO施設

問 アンケート結果によると実証試験後の生ごみ分別の意識がかなり高い。有効な取り組みといえるが今後も継続していくのか。その場合のモデル地区の選び方は。
のり長 働ぶく課 協進 協進 協進

改善点はあるが、来年も継続して実施していきたい。モデル地区の選定方法は、今後検討する。

バイオマス

生ごみ分別モデル地区事業の継続は

来年度も継続していく

道徳教育

評価のフィードバックが必要では

教育長

先生と子どもが向き合う時間が重要

問 何度も失敗や間違いを体験して成長していくという子どもを観を踏まえた評価であってほしいか。
のり長 働ぶく課 協進 協進 協進
評価する場合は、子どもの良さ、プラス面での成長を見ていく

問 道徳が教科化され、評価が伴うことになったって、どのような議論があったのか。また、いじめ防止の観点から議論の機会があったか。
のり長 働ぶく課 協進 協進 協進
評価について特別な議論は行っていない。いじめ問題や不登校などについては、これまで何度も定例会で話し合っている。

問 中学生については特に自己肯定感ももてるような評価と、フィードバックの機会が必要と考える。そのために学校の多忙化を軽減する環境整備が求められるのでは。
のり長 働ぶく課 協進 協進 協進
子どもたちに自信を与え、認め、励ます評価にしていけるべきである。学校での働き方改革も求められており、先生方が子どもたちと向き合える時間を十分とれるようにしたい。

ことが大事である。さらには、充実した内容の授業をするかが重要だと考える。



教科化される道徳



高橋 聡 輔 議員

施設利活用

芝グラウンド使用が少ないのでは

体育振興室

使用方法など総合的に検討する

問

中新田交流センターの活用状況と、他の施設との連携状況は。

町長

学校・生涯学習・スポーツ少年団の関係者の利用が減少傾向にあるので、予約の簡素化や利用しやすい環境づくりに努めていく。

副町長

加美町振興公社内で、各施設の主任会議を行い連携・調整を行っている。

問

陶芸の里スポーツ公園芝グラウンドの使用制限はあるか。また、芝グラウンドの使用頻度が少ない状況で年間の維持費が高額になっているが、今後もこのまま継続していくのか。

体育振興室長

芝が荒れてしまうという理由から、サッカーやラグビーに関しては月2回までとしている。今後使用方法、管理の状況などを総合的に検討し判断していく。



開会式の会場が多目的広場で開催（全日本パークゴルフ大会）

問

ふれあいの森パークゴルフ場の多目的広場の芝も荒れることを理由に有意義な活用がされていないか。

副町長

スポーツ団体が年間計画を作り、芝を管理し、多くの方が活用できるようにしていく。

観光振興

費用対効果を出すべきでは

町長

参加者増と経費削減を

問

推進交付金を活用したシートウーサミットの今後の大会運営にはどれくらいの費用がかかるのか。

商工観光課長

今回のプレ大会ではモンベルとの交渉で半分の162万円で、次年度以降は324万円になる。次年度以降も地方創生の推進交付金を活用し3年間行う計画である。

問

金額に見合った費用対効果を出していく必要があるのでは。

町長

参加者を増やし経費削減を検討していく。補助金が切れる4年以降も念頭に置きながら、3年間しっかり取り組んでいく。

問

次年度以降の大会スタッフを観光まちづくり協会、地域おこし協力隊で担っていくのか。

商工観光課長

次年度以降は、若い方々や地域おこし協力隊に長期的に参画して活躍してもらいたい。



シートウーサミットで薬菜登山



味上 庄一郎 議員



町のホームページ

移住定住

ひと目でわかる支援策は

町長

ホームページ改善が必要

問 「日本一の子育て村」で人口増加の成果を上げる島根県邑南町では、婚活から子育て・就労に関するものまでの移住・定住支援策がひと目でわかるようになって

いる。加美町でのPR方法は。

町長 町のホームページを改善していく必要がある。

問 下原地区の宅地造成地の募集方法は。

町長 基本的に広原スマイルタウンと同じである。

問 一定の期間を設定し、町外の購入希望者を優先しては。

町長 提案も参考にして一番良い形を検討していく。

問 現行の町の制度では補助金が最大100万円である。広原スマイルタウンでは上乗せ交付金が更に50万円あった。

基金を取り崩して広原と同程度額の補助金は検討できないか。

町長 本年10月に住宅金融支援機構と、子育て世帯や新規転入者の住宅取得を支援する協定を結んだ。現行の町補助金申請者が、全期間固定金利住宅ローン「フラット35」を利用できる。

消防防災

緊急時取水口の水量調整は

町長 管理団体と検討していく

危機管理室長 消防団の消火活動には、二股連結バルブが必要と思うが各部単位に配備する考えは。すべての部単位に必要かどうか確認し、検討する。

問 9月27日の住宅火災発生時、股川の水量が少なく消防用水が不足していたとの情報があったが。

町長 加美消防署の報告では、水利状況は良好と記載されていた。

問 消防栓を使用するために、消防署と消防団の講習も必要では。緊急時に備え、講習も検討していく。

問 股川・志田江川の緊急時の水量調整は可能か。

町長 両河川の頭首工では国の基準により不可能だが、下流域での調整は可能である。鳴瀬川沿岸土地改良区と検討を行っていく。



緊急時に備えた訓練

今後の博物館への考え方は



木村 哲夫 議員

町 長 個別施設計画の中で方向性を示したい



統合が検討されている施設

問

「加美町の新博物館のあり方に関する教育委員会の基本的な考え方」が発表された。その基となる「教育委員会の会による提言書」の内容は。

教育長 1年間、7回にわたって検討を重ねた「提言書」の内容は博物館の必要性、設置目的と事業目標、求められる機

能、現状と課題、整備のあり方、管理運営のあり方の6項目からなっている。

また、長期的には施設の統合・新設案を、短期的には各施設の老朽化と専門学芸員の定年までの年数を考え、総合収蔵施設展示縮小案を提案している。

問

「提言書」を受けて教育委員会としてどのような検討を行ったか。

教育長 施設の老朽化、収蔵環境などの現状確認と、寄贈条件や維持管理費の確認をした。

施設の構成と規模については、状況が切迫していることから、収蔵・保管庫をメインとした小展示室を併設した施設を建設し、その後、総合博物館の建設を目標としているが建設場所については、結論を一本化することはできなかった。

問

町長は、教育委員会の「考え方」をどのように受けとめたか。

町長 一つの方向性が出たので、それを受けて実現に向けて取り組んでいきたいと思うが、他の施設との整合性や財源の確保なども勘案しながら、個別施設計画の中で一定の方向性を示していきたい。

問

町営住宅整備計画の策定、公営住宅の整備状況は。

町長 町営住宅の改修・建替えなどは公営住宅等長寿命化計画に基づいて推進している。鳥屋ヶ崎は廃止の方向で調整を行っている。一本杉・前田は、建替えの検討も必要ではないかと考えている。



鳥屋ヶ崎町営住宅



佐藤 善一 議員



森林空間を活用した公園

こども公園

ゆーらんど周辺の整備は

町長

大人も子どもも楽しめる場所へ

問 子どもの心身を育む環境づくりについて現況と課題をどう捉えているか。

町長 遊びなど体を動かす機会が減少している。そのことが心や体力づくり、コミュニケーションづくりに影響を及ぼすと思う。

教育長 健康で体力を兼ね備えた育成に努めているが、運動不足・学力低下・不登校が課題である。

問 「よく学びよく遊ぶ」を信条に生き生きとした人間づくりが第一で、「遊びながら学ぶ天性」を大切に育てることが重要と思うが。

教育長 遊びを通して、心と体・知的な面で鍛えることは、子どもが成長する上で一番重要と考える。

問 「こども公園基本計画」では陶芸の里ゆーらんど周辺を整備する内容だが、進捗状況は。

町長 現在、既存公園や遊具の修繕計画を作成している。ゆーらんど周辺の整備は、大人も子どもも、楽しめる場所として検討している。

問 町内文化施設を統合する考えがあるようだが、まずはゆーらんど周辺や裏山の自然を生かした森林空間の整備を進めては。

町長 早速、整備するよう森林整備対策室に指示している。

問 子どもが心身ともにたくましく育つ環境づくりは、行政の重要な役割である。責任ある提案を行い、実現すべきと思うが。

町長 旭小学校の跡地利用やゆーらんど周辺の生かし方など、優先順位を決め、地域の皆さんと一緒に進めて行く。



“心身ともにたくましく”

長・教育長へ質問

子ども議会

11月21日

議会宣言を採択～

昨年11月21日、議会の仕組みや行政の仕事を理解・学習し関心を高めてもらう目的で「加美町未来・夢子ども議会」を開催しました。

子ども議会は今回で3回目を迎え、同15日のリハーサルでは、早坂議長から、任命書が渡された後、抽選の結果、議長は津嶋香凜さん(旭小学校)、副議長は佐藤怜さん(西小野田小学校)に決まりました。

当日は、町内の小学校を代表した18人の子ども議員が、普段思っていることなどを町長や教育長に堂々と質問や提言を行いました。

最後は、全会一致で「加美町未来・夢子ども議会宣言」を採択し閉会しました。

加美町 未来・夢子ども議会宣言



さ さ き み は な
佐々木 望花 議員
(賀美石小学校6年)

私たち子ども議員は、加美町の全小学生の代表として次のことを宣言し、各学校で主体的な活動に取り組みます。

- 1、私たちは、加美町民であることを誇りに思い、これからも緑豊かな自然や文化・環境を守り続けるための活動に、積極的に取り組みます。
- 2、私たちは、加美町が将来も、安全・安心なまち、環境に優しいまち、誰もが心豊かに成長できるまち、そして、誰もが楽しく暮らせるまちになるよう努力していきます。

防災対策



さとう れい 議員
(西小野田小学校6年)

質問 最近、北朝鮮の弾道ミサイルが発射されて緊急警報アラートが鳴り、とても驚きました。私たちにもわかる避難の知識や情報を教えてもらうことはできますか。

答弁(町長) 国では、屋外にいる場合はできるだけ近くの頑丈な建物に、建物がない場合には物陰に身を隠すか、地面に伏せ頭を守るように指示しています。そういった判断を一人一人がするしかないが、家族で話し合ったらよろしいのではないかと思います。

子どもたちの体力向上



ふるうち みく 議員
(西小野田小学校6年)

質問 ボルダリングやアスレチックなど子どもの体力向上のために、1人でも安全に遊んだり運動したりできる施設をつくる計画はありますか。

答弁(教育長) 子どもたちが楽しく安全に遊べるように公園などの調査を行っています。新しい公園の建設や全ての遊具をすぐに修繕するのは難しい状況にあります。来年4月には薬菜にボルダリングが楽しめる施設がオープンする予定になっております。



議長を務めた津嶋議員



議長や副議長を決める抽選でドキドキ



早坂議長から子ども議員に任命書が手渡される

※紙面の都合、一般質問は抜粋して掲載しています。

将来を担う子どもたちが町

～加美町 未来・夢 子ども



あべ ゆうが
阿部 優駕 議員
(賀美石小学校6年)

安心して暮らせるまち

質問 毎年のように、熊が出没する回数が増え続けているように思います。町では、熊が農地を荒らしたり遭遇したりしないようにする対策は立てているのでしょうか。

答弁(町長) 熊、イノシシ、猿の目撃情報は増えています。今年の、熊の目撃情報は28件です。町では、目撃情報が入ると学校、警察、地域に素早く連絡をして注意してもらうようにしています。熊のえさになるようなものを置かないなど、野生動物が皆さんの家に近づかないようにする環境づくりも大事だと思います。

どの地区も便利なまち

質問 私たちの住む賀美石地区にはコンビニやスーパーがありません。運転できない高齢者や子どもたちのためにも、スーパーかコンビニを建てる予定はあるのでしょうか。

答弁(町長) コンビニやスーパーは町がつくるのではなく、会社がつくります。今のところ、計画は聞いておりませんので、建つ予定はないだろうと思っています。皆さん方と協力をしながら、知恵を出し合って地域づくりをしたいと思っています。



ささき みはな
佐々木 望花 議員
(賀美石小学校6年)



おかもと まなと
岡本 愛生 議員
(広原小学校6年)

通勤・通学できる環境

質問 公共の交通機関があれば運転免許のない高校生も遠くの学校に通うことができます。町民バスの路線を増やしたり鉄道の駅を増やしたりする計画はありますか。

答弁(町長) 住民バスという仕組みをスタートさせました。中新田の西町停留所からミヤコーバスの路線バスが古川駅まで運行しています。仙台に通勤通学することも可能です。住民バスについては、運行の経路や停留所、本数など毎年計画を検討しています。



うへだ あいり
内藤 愛里 議員
(広原小学校6年)

勉強する環境

質問 教室で授業をしていると虫が入ってきて勉強の邪魔になります。夏場は40度近くになってしまい、とても勉強ができません。窓に網戸をつけただけでも違うと思います。網戸の設置の予定はありますか。

答弁(教育長) 衛生面や安全面から見て、どのように対応するのが一番いいのか、学校と相談しながら考えていきます。エアコンあるいは網戸の設置状況を調べて、どれくらい費用がかかるか意見をもらいながら考えていきたいと思っています。



子ども議員の質問に丁寧に答弁する町長



議場に入場し、一礼する子ども議員



腹が減っては元気がでない！お弁当でパワーUP

※紙面の都合、一般質問は抜粋して掲載しています。



みうら ゆうと
三浦 優斗 議員
(鹿原小学校6年)

安全・安心なまち

質問 鹿原地区にはひとり暮らしの高齢者の方が多く住んでいます。生活面で何か支援をしてあげることが可能でしょうか。

答弁(町長) 町では郵便局、河北新報の販売店、加美よつば農協、生協など、さまざまな事業所と高齢者の見守りの協定を結んでいます。日ごろ高齢者のお宅も含めて回っていますので、新聞や郵便が郵便受けにたまっているとお年寄りが具合悪いのではないかとこのことに気づきます。何か変わったことがあれば、町も一緒になって対応していきたいと思います。

運動できる環境

質問 冬になると雪がたくさん降ります。1年を通して天候に左右されない、そして子どもから高齢者までみんなが体を動かせる場所、運動場を小野田地区に整備する計画はありますか。

答弁(教育長) 鹿原地区の場合、雪や雨などのときには皆さんの小学校の体育館あるいは公民館を利用する方法が一番いいと思われます。利用のルールの見直しをして、できるだけ利用しやすいように総合的に考えていきたいと思えます。



くどう なお
工藤 成生 議員
(鹿原小学校6年)



にしづか しんぺい
西塚 新平 議員
(東小野田小学校6年)

運動できる環境

質問 学区が広いのでみんなで遊ぶときなどは北区の公園などに集まって遊びます。不便なことが多いので利用しやすいよう男女別のきれいなトイレや時計を設置し、フェンスを高くしてほしいです。

答弁(教育長) 現在トイレについては修繕工事のため使用禁止になっており、和式から洋式への交換も進める計画になっています。現在、時計を設置している公園はありませんが設置について検討します。フェンスですが今のところ高くするという予定はありません。

明るい未来への取り組み

質問 校庭の遊具が古くだいぶ傷みがあるので、低学年が楽しめる遊具や全校児童が楽しめる遊具の設置はできないでしょうか。

答弁(教育長) 学校の遊具については専門の業者の方に点検をしてもらっています。その点検結果を見て修繕できるものは修繕し、危険なものは撤去しなければならないと考えています。体力向上にも効果があるような遊具を学校と相談しながら考えます。



おやま ことね
小山 琴音 議員
(東小野田小学校6年)



ささき けい
佐々木 深 議員
(中新田小学校6年)

観光客を呼び込んで町を活性化

質問 観光客を楽しませるために物産品売り場をつくり、「かみ〜ご」のストラップなど手作り体験をしてはどうでしょうか。

答弁(町長) かみ〜ごのストラップ、バッグ、キーホルダー、Tシャツなどのグッズがあり、薬師の湯、あゆの里物産館などで現在販売しているところです。具体的にこういったグッズというのがあれば、ぜひ町に提案をいただきたいと思えます。

楽しい学校生活

質問 老朽化でさまざまな遊具がなくなっています。楽しく外で遊びながら、しっかりと体力もつけられるようにジャングルジムなどの遊具を設置していただけないでしょうか。

答弁(教育長) 一度にいろんな遊具を設置することはなかなか難しいことですが、皆さんが楽しく遊びながら体力がつけられるような遊具の設置について学校と相談しながら考えていきたいと思えます。友達と工夫しながら一緒に遊んでもらいたいと思えます。



おおた きょうか
太田 恭佳 議員
(中新田小学校6年)



子ども議員の発言に真剣に耳を傾ける議員



「はい！」と手を上げ元気に返事



後半から議長を務めた佐藤副議長

※紙面の都合、一般質問は抜粋して掲載しています。



ちさか ふたば
千坂 双葉 議員
(鳴瀬小学校6年)

明るい未来への取り組み

質問 総合的な学習でバイオマスについて学びました。環境に優しく、エネルギーの自給自足になる取り組みについて、今後はどのように広めていく計画なのでしょう。

答弁(町長) バイオマスの工場をつくり、家庭の生ごみ、家畜のふん尿、食品加工メーカーなどから出る食品残渣を原料としてメタンガスを発酵させ、ガスとそのときに出る肥料を活用していくということです。これからは生ごみ回収の実証事業や、採算がとれるように研究し、進められるように頑張っていきたいと思います。

子どもが遊べる場所

質問 地区によっては遊び場がないところもあります。遊具を新しくしたり小学生やもっと小さな子どもたちも遊べるような場所をつくる計画はないのでしょうか。

答弁(町長) 今のところ、新しくつくる計画は残念ながらありません。鳴瀬の平柳地区には農村公園があり、点検を行いさびている鉄棒、ブランコ、滑り台の塗装を行っていますので、ぜひお友達と遊んでいただきたいと思います。



うはら ゆうか
兎原 優香 議員
(鳴瀬小学校6年)



すずき ゆい
鈴木 唯花 議員
(旭小学校6年)

施設の再利用

質問 旭小学校は、宮崎小学校と統合になりますが、校舎を何かに使う予定はありますか。老人ホームや宿泊施設またはいろいろなお店が集まる市場などに再利用はできないでしょうか。

答弁(町長) 上多田川小学校も広原小学校に統合されて、今音楽の学校になっています。これから地域の方々と話し合って有効活用できて多くの人々が旭地区に集まり、地域の活性化につなげていけるかということを模索していきます。校庭や体育館は地域の方々に開放していきたいと思います。

学校のインターネット環境

質問 パソコンがタブレット型に新しくなり、学習でも活用しています。しかし、インターネットを使用するとつながりにくく学習が進まないときがあります。ネットの環境の改善は考えられるでしょうか。

答弁(教育長) 学校で利用しているパソコンは安全にインターネットが利用できるようにホームページを必ず機械が確認することになっています。今、町では皆さんが安全で今よりも快適にインターネットを使った授業ができるように、担当課でシステムの調整を行っています。



つしま かりん
津嶋 香凜 議員
(旭小学校6年)



かなざわ わもん
金澤 和門 議員
(宮崎小学校6年)

安全・安心なまち

質問 宮崎には児童館がありませんが、親が仕事のため送迎できない家庭でも、小野田図書館や中新田図書館で行われるお話会やイベントに参加できないでしょうか。

答弁(町長) 宮崎には児童館がありませんが放課後児童クラブがありますので、登録をして利用ができます。また、保護者の送迎が必要ですが、小野田図書館や中新田児童館などで行われているお話会などにも参加してもらいたいと思います。

明るい未来への取り組み

質問 環境問題について本を読み、温室効果ガスを減らすために自然の力を利用したクリーンなエネルギー開発が必要であると感じました。町として、環境を守るためにどのような取り組みをしていますか。

答弁(町長) 各小中学校に太陽光発電を設置しています。家庭で、太陽光発電施設・太陽熱による温水器、まきストーブを設置した時にも補助金を出しています。家庭で節電に取り組んだ場合、地域の商品券をプレゼントするキャンペーンも行っています。また、自然を次の世代に引き継げるように努力をしたいと思います。



うえの ひまり
植野 日愛里 議員
(宮崎小学校6年)



三浦副議長から記念品が手渡される



加美町 未来・夢 子ども議会宣言を全員で採択



教育長の答弁を聴く子ども議員

※紙面の都合、一般質問は抜粋して掲載しています。





私たちは
こんなまち



生涯学習・福祉・教育の充実へ

教育民生常任委員会視察研修（平成29年10月10～12日）

参加した委員は、高橋聡輔（委員長）・三浦進（副委員長）
・猪股俊一・伊藤信行・早坂伊佐雄（議長）



成功だけでなく失敗例などの苦労体験も話題に

アドバイザーを委託し、住民との会議で辛口意見を受け、運営に反映させていました。総事業費の89%が自主財源になつて、いることもわが町も参考にしていきたいところでした。

福祉政策の充実

（広島県海田町）

広島市のベットタウンで、土地価格が高く、定住に結びつかない。そこで妊娠前から子育てまで切れ目のない事業に取り組み始め、また高齢者対策として、保健師または新聞・郵便などの配達員が安否確認の協力をして、課題解決への取り組みを行っていました。

たゲーム感覚で飽きない授業やノートを活用するなど使い方は先生に任されています。一方通行になりがちなICTの授業を、メール機能を活用したアンケートなどで進度や理解度を把握していました。また、小・中学校の先生が行き来する「乗り入れ授業」を行い、教師の人手不足や中一ギャップ解消も行っていました。

スポーツと文化の融合

（広島県北広島町）

総合型スポーツクラブの特徴は、スポーツ感を出さないこと。屋台村という名称で、文化活動にも力を入れ、町内外誰でもが参加しやすい工夫をし、公民館の下請け的な存在になっていました。運営で大事なことは住民のニーズ調査であり、スポーツに特化しないことでした。県や大学の外部

小中一貫校・学力向上

（広島県竹原市）

独自の英検や、タブレット活用授業をしています。タブレットを使っ



忠海学園のタブレットとノートを使い分けた授業

日本一の子育て村構想で人口増

議員国内行政視察研修（平成29年11月8～10日）



A級グルメを試食

A級グルメで町おこし

（島根県邑南町）

広島市まで1時間圏内の農林業を基幹とする人口約11000人の町です。平成16年の合併以来「A級グルメ構想」「日本一の子育て村構想」などに取組み、10年目で人口増加に転じ、社会動態も3年連続増加しています。町の「子育て支援ガイド」は、婚活から子育て、移住・定住、就労などの支援策と担当課がひと目でわかる冊子になっています。

PR方法は、本町でも参考になると思いました。

芸術観光エリア

（岡山県倉敷市）

美観地区は、大原美術館を中心に町並みに溶け込むレトロな店がならび、商店街が一体化され多くの観光客で賑わっています。

議会改革・議会活性化

（京都府精華町）

議会改革の一環として、予算編成に向けて「事業評価」を行っています。予算決算常任委員会が事業を選抜し、事務事業評価シートを用いて討議・評価しています。本町議会でも参考にしたい取り組みです。



議会改革を真剣に議論

住民との共同作業でごみの資源化に大きな成果

産業経済常任委員会視察研修（平成29年12月12～14日）

参加した委員は、三浦英典（委員長）・一條寛（副委員長）

味上庄一郎・伊藤淳・佐藤善一・下山孝雄・早坂伊佐雄（議長）

資源ごみの分別収集を全行政区で実施しており、ゴミの資源化に大きな成果を上げています。同じ敷地内には地場産野菜の

「おおき循環センターくるるん」は、町の環境政策の骨子となる循環のまちづくりの拠点施設で、これまでゴミとして焼却・海洋投棄していた有機物（生ゴミ・し尿・浄化槽汚泥）を活用して発生したメタンガスを、電気や熱エネルギーに変えて施設内で利用しています。

環境エネルギー政策

（福岡県大木町）



おおき循環センターくるるん

観光政策で交流人口増へ（宮崎県シーガイア）



加美町でも日本一へ

鹿児島きもつき農業協同組合では、日本一を目指すし平成25年から取り組んでおり、優勝への執念を感じました。

日本一の和牛

（鹿児島県鹿屋市）

直売所と、それらを味わうレストランも併設されています。

トピックス

女性の声を議会へ

東小野田婦人会と意見交換会（平成30年1月24日）

議会改革を報告

東小野田婦人会（高橋徳子会長）の呼びかけで意見交換会を行いました。当日は、東小野田婦人

会56人、議会からは、議長、議会運営委員会正・副委員長、議会広報常任委員長の4人が参加し、4月以降に議会で新たにやり組んで

いる議会改革について報告しました。また、3月定例会の予算審査特別委員会では、各課から説明を受けて慎重に審査を行う予定など、今後の取り組みを報告しました。

婦人会からは、国立音楽院の状況や町の借金についての質問・意見があり、具体的には、「財政力指数・ふるさと納税・小中一貫校の予定」など、具体的に鋭い質問がさまざまありました。

高橋会長は「今後とも学習をしながら町長・議会とともに、まちづくりに協力していきたい」と心強い挨拶があり、和やかなうちに閉会となりました。

議会では、広く住民の意見や要望を把握し、政策提言に繋げられるように参考にしていきます。



東小野田の婦人会からの呼びかけで議会議員と意見交換

あれからどうなった

vol.31

平成28年12月定例会の一般質問内容が、その後どう取り組まれたかをお知らせします。

議会広報No.56から

■世界農業遺産認定の将来展望は



問

世界農業遺産の認定申請と稲作の将来展望は。

答

認定されれば、1市4町の農産物・加工食品を認定商品と定め、地域ブランド商品として、発信できると考えている。

その後



■文化・自然環境などを保全・継承

『持続可能な水田農業を支える「大崎耕土」の伝統的水管理システム』が、昨年12月12日に東北・北海道で初めて世界農業遺産に認定されました。今後は、大崎耕土の水田農業システム、文化、自然環境などの保全・継承を行うとともに、これらを活用した地域活性化、農産物などの高付加価値化を図っていく。

議会広報No.56から

■筒砂子ダム建設事務所の設置場所は



問

ダム建設には、多くの人が20年以上携わることになり、町の活性化に繋がる。加美町への建設事務所誘致活動は。

答

加美町に設置すると聞いている。今後も要望していく。

その後



■現在の鳴瀬川総合開発工事事務所(大崎市古川)

国土交通省鳴瀬川総合開発工事事務所では、平成32年度から運営ができ床面積が1,200㎡～1,300㎡規模で活用出来る既存施設があるか否か、新築の可能性などについて調査し、財務省と協議をしているようである。

町としては、町内への設置について引き続き要望していく。

“傍聴に来てけらいん”

議会定例会の日程は、開会前に各家庭にチラシを配布してお知らせします。ぜひ、傍聴にお越しください。

議会傍聴された方

件 名	会 期	傍聴者数	
		男性	女性
12月定例会	12月6日～8日	16	24

受 付



傍聴の受付は、小野田支所3階にて行います。

受付では、住所・氏名・年齢をご記入ください。

傍聴席



傍聴席は一般席30席、記者席5席あります。

満席時には、2階の会議室で中継がご覧になれます。

お知らせ

スマホでも議会中継が
ご覧いただけるようになりました！



どうぞ
お気軽に！



QRコード

インターネットで議会を生中継しています

町ホームページ(<http://www.town.kami.miyagi.jp/>)で、議会の生中継が見られます。トップページの画面「議会中継」をクリックすると映像画面になります。

●議長交際費内訳 (10月～12月)

情報公開

月	件数	金 額	内 訳
10月	5件	19,000円	会費
11月	3件	13,000円	会費
12月	2件	14,000円	会費
合計	10件	46,000円	

平成30年度 議会だよりモニター募集！

18歳以上の町内在住の方で、年4回発行される議会だよりに関するアンケートに協力していただき、広報編集委員とモニター会議で意見交換を試みませんか。

問合せ 議会事務局 ☎67-5120

次回の定例会は
3月上旬頃
の開会予定です

議会だよりへ一言

議会だより59号(平成29年11月1日発行)に対する議会だよりモニターからのご意見・ご感想を紹介します。

モニター 分からない用語が何点ありました。



広報委員会として 専門用語などをどうしても掲載しないといけない場合、用語解説を活用し説明を補っています。写真を使ったり全体的に分かりやすい文章表現になるようにも努めます。

表紙写真の紹介



おのだにし園
(12月7日)

園児らが田植えから収穫体験までお世話になった下野目地区保全会の方と一緒に餅つきを楽しみました。

ものすごく伸びる餅を見て驚いていました。

素晴らしい年になりますように願いを込めて。



～自然とふれあい住民一丸～

小野田・北鹿原（35戸）

小山 敏 区長



北鹿原は薬
菜山を背に前
方には船形山
を望み鹿又川
大滝川の川並
に沿う細長い
集落です。



大滝不動尊

集会所は滝庭出身者からの寄贈で前区長の時に、なじみ館から北鹿原集会所と名前を変えました。冬囲いや草刈りはみんなで行い、清掃は老人会でしています。

五種スポーツは選手不足で不参加となりがちですが、運動会には全種目参加できたと喜んでいきます。全体の親睦会といえは、運動会後の懇親会とさなぶり会です。

健康面はミニデイが活躍しています。防災面はマップに指定されたところがありま

すので倒木にも気をつけています。
地区にはそばの駒庄、餅の大滝農村公園、大滝と神社周りの紅葉もきれいです。また、荒沢のみずばしうは船形登山への通り道でもあります。やくらい高原マラソン大会の協力として、住民一丸となって草刈りもしています。

これからも地区の仲間と協力し、豊かな自然を守っていきます。

われらが仲間

設立30周年 加美ライオンズクラブ

ライオンズクラブは、We serve（我々は奉仕する）をモットーに世界180国140万人の同志とともに世界に平和、環境災害、貧困と青少年育成を重点課題として活動しています。

我々加美ライオンズクラブ（会長 熊谷雅之）は、設立以来30周年を迎えますが、自然環境活動として、ブナの植林や股川の錦鯉放流、青少年健全育成として、中新田小学校プラスバンドへの楽器の贈呈、福祉事業として車いすの贈呈その他交通安全や非行防止活動を行ってきました。

今年の1月12、13日に男女合わせて23チームが参加し、加美ライオンズ杯争奪第22回中学校バスケットボール1年生大会を行いました。中学1年・小学6年混合チームのフレッシュで熱い戦いが繰り広げられ、女子の部では中新田中学校女子チームが見事優勝を飾りました。

雪が解ける5月には、薬菜山の麓にあるライオンズの森で、ブナの植林作業を行います。皆さんも豊かな自然の中で一緒に植林作業をしてみませんか。



定例会 第1・第3木曜日
連絡先 鶴谷 勉 ☎63-5656

加美町も合併15年になりました。

編集後記

議会は議会の充実、活性化に取り組んでいます。

12月定例会では12人の議員が一般質問を行い活発な議論が交わされたところです。

また、11月には第3回目の子ども議会が開催され、町長、教育長に対し子どもならではのいろいろな意見が出されました。

今後、これらの意見を議会としても町政に生かしていきたいと思っています。

限られた紙面での議会広報ですが、町民皆様に分かりやすく読んでいただけるよう工夫改善し、お届けしたいと考えています。

（早坂 忠幸）

議会広報常任委員会

編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 伊藤 由子 |
| 副委員長 | 味上庄一郎 |
| 委員 | 早坂 忠幸 |
| | 三浦 進 |
| | 高橋 聡輔 |
| | 一條 寛 |